

# 色染 38 年卒（みつば会）の近況報告

同窓の小島氏が国立新美術館南画院展に出品するという事で、平成 27 年 3 月 21 日（土）東京地区の同窓生で鑑賞会と懇親祝賀会を新宿三井クラブで開催した。集まったメンバーは出展の当人小島氏と東京近在の酒井, 三河, 渡邊, 鎌田, 中里, 石野, 早貸の合計 8 名。

小島氏の出展作品は『吹雪く』というタイトルで、格調の高い薄墨の F 1 2 0 号という事で「大型作品 (194cm × 130cm)」である。作品の前で全員集合の記念撮影を行った。

小島氏には弟子もいるらしく、弟子も今回受賞(京都府知事賞)していた。

小島氏の案内と解説で 1 時間程他の作品も鑑賞した後、美術館を後にする。



前列左から、三河, 鎌田, 中里

後列左から、早貸, 小島, 酒井, 渡邊, 石野

懇親祝賀会の会場、新宿三井クラブは、高層ビル内 5 4 F で絶景の夜景が楽しめる。1 年ぶりの再会であるが昔に戻り、喧々諤々の意見が飛び交った。耳が遠くなり理解不十分な点もあったが概ね次の通りであった。

まずは、各人の健康状態から始まる。原因不明のふらつき現象と病院のはしご的移転、便秘とそれに対する秘法紹介、前立腺肥大問題、かすみ目等、やはり年相応の問題が出てくる。反対に水泳と卓球に力を入れている人も居る。次いでの話は、ボランティア的活

動で、パソコンの地域住民へのサービス活動、教育活動、町内の防災活動、2020年のオリンピック・パラリンピックへのボランティアでの参加目標等、奉仕の精神も充分見受けられた。我々の世代では大事なことである。繊維関係から離れられずボランティア的に講師をしている話もでた。自己啓発面では英語の勉強や大学の講座を聴講、古代史や現代史の歴史研究、国際交流問題研究など、対象テーマの幅が広い。多士済々でまだまだ老ける訳にもいかない年齢の様だ。

又、小島氏は今回の展示以外に、2013年秋、宮崎県延岡市で、昭和38年旭化成入社同期生が集い、入社50周年記念大会を開催した折、来賓の副市長から、建設中の市役所新庁舎に因んだ記念作品の制作打診を受け、同期生の応援を得て、制作をお引き受けすることになった。

そして、毎年、一夜だけ延岡城址で開催される「天下一薪能」の鑑賞から、暗闇の中に浮かび上がる古城の石垣を背景に、片山九郎右衛門師らが演じた「二人静」の舞台に発想を得て、制作の構想を固め、F80号の本作品「幽玄」は、2015年2月に完成させ収めた。



宮崎県延岡市の新庁舎に展示される「幽玄」

いろいろと話題は尽きなかったが、解散時間がアツという間に迫り、来年も元気であればと、次の再会を約して散会した。

この他に帰国時期が今回の懇親会に合わなかったが、タイで仕事をしている伊東がいる。彼は、タイの化学品輸入会社で技術面の相談役的な仕事をし、ゴルフを楽しんでいるらしい。いわば現役のサラリーマンである。4月に帰国するとのことなので、この時又皆で集まり、懇親会を開催しようと言うことで、別途タイの近況レポートを依頼することにした。

(色染 昭38・早貸正幸)